



検査受託中止および新規項目のお知らせ

謹啓 時下ますますご清栄のことと、お喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、試薬販売製造元より試薬販売の中止の連絡があり、検査受託を中止するとのご案内が検査委託先よりありました。これに伴い、下記日程にて検査受託を中止させていただきます。

また、代替項目の新規受託項目をあわせてご案内いたします。

先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、何卒宜しくご了承の程お願い申し上げます。

謹白

記

受託中止項目

●抗 GAD 抗体（依頼コード No. 3844）

最終受託日 2015年12月29日（火） 受付分まで

新規受託項目（代替項目）

●抗 GAD 抗体/EIA 法（依頼コード No. 3786）

受託開始日 2015年11月2日（月）より

グルタミン酸脱炭酸酵素（Glutamic acid decarboxylase:GAD）は、グルタミン酸よりγ-アミノ酪酸を合成する際に働く酵素であり、主に脳や膵ランゲルハンス氏島β細胞に存在します。抗 GAD 抗体は、1 型糖尿病（インスリン依存型；IDDM）に関わる自己抗体であり、発症早期の IDDM 患者の血中に高率に出現することが報告されています。

GAD には、分子量が異なる少なくとも 2 種の isoform、GAD65（分子量：65000）と GAD67（分子量：67000）が存在し、ヒトの膵β細胞では主に GAD65 が発現しており、IDDM 患者における抗 GAD 抗体の主たる標的であることが知られています。

本検査は、ヒトリコンピナント GAD65 を抗原として用いた EIA 法により、抗 GAD65 抗体を測定いたします。また、抗 GAD 抗体は、臨床的に IDDM と診断される以前より血中に出現するため、IDDM の早期診断のみならず発症の予知ならびに、当初は 2 型糖尿病（インスリン非依存型；NIDDM）と診断され、徐々に IDDM の病態を呈するようになる、いわゆる slowly progressive IDDM (SPIDDM) の診断にも有用と考えられます。

裏面につづきます

013

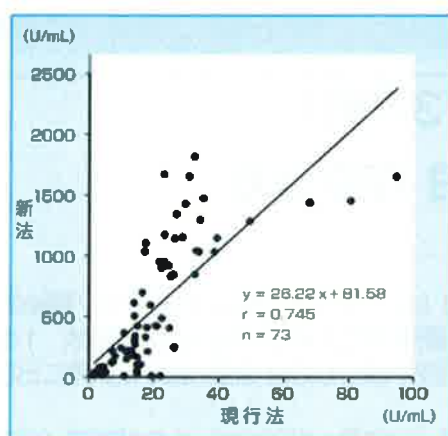


より正確に！
より迅速に！
地域に密着した検査体制

登録衛生検査所
一般社団法人
岐阜市医師会臨床検査センター
電話 058-255-1040

	新	現行
依頼コード No.	3786	3844
検査項目名	抗 GAD 抗体/EIA	抗 GAD 抗体
検査材料	血清	同左
検体必要量	0.6mL	0.3mL
容器	1 → S-1	同左
検体の保存方法	冷蔵	同左
所要日数	3 ~ 4	同左
検査方法	EIA 法	RIA 法
基準値	5.0未満	1.4以下
報告単位	U/mL	同左
報告範囲	5.0未満 ~ 2000以上	1.3以下 ~ 最終値
報告桁数	小数第1位	同左
検査実施料/判断料	136点/144点(生化学的検査(Ⅱ))	同左

新法と現行法の相関



自社検討資料

【検査方法の参考文献】 川崎 英二, 他: 医学と薬学 66, 345-352, 2011.

* 当該検査の受託開始に伴い、現行法による抗GAD抗体(依頼コードNo.3844)は
2015年12月29日(火)受付分をもちまして検査受託を中止させていただきます。